

河合谷禁酒ものがたり

さんさんごうごう会

①開催概要

○概要

河合谷地区は津幡市街地より北東に位置し、90%が山林を示め耕地80町歩余は山間地ながら殆ど区画整理が済んで有機米の生産地です。縄文時代から人が暮らし、総持寺、二世峨山禅師の生誕地で大正から昭和にかけ、禁酒により小学校を建設した教育至上輝かしい快挙を成し遂げた河合谷小学校も平成20年廃校となり、後世にその物語を語り継ぐべき特色のある地域です。

②開催目的

河合谷小学校に関する紙芝居を始め、禁酒と同時に始まった次期の建築用材林やその周辺の三番の滝や藩政時代の金山採掘跡地へのウォーキングコースと隠れた観光スポット発掘が交流人口の促成と地域の活性化づくりの一助に供することを目的とするものである。

○紙芝居初上演会

開催日 平成26年10月18日 午前10時～10時30分

会場 河合谷ふれあいセンター

主催 河合谷地区振興会・3355会

協力団体 河合谷公民館・区長会・老人クラブ

参加者 敬老会95名・地区関係者35名



河合谷「禁酒の碑」物語



石川県羽咋郡河合谷村（現：津幡町河合谷地区・加賀・能登・越中の分岐点、津幡町の北東部に位置する）
当時(大正15年)の戸数は300戸足らず、人口は約1,600人
山間いの6集落からなり、総面積は21.4km、その83%は山林、木炭と山芋、養蚕で現金収入を得ていた。

大正15年(1926年)1月28日

「**小学校の改築費4万5千円余をいかに捻出するか**」を自治改良委員会(公職者、僧侶、有志ら30人)にて協議。

森山忠省村長は、「村で消費している年間9千円の酒をやめれば、5年間で償還できる」と提案、当時の1年間の酒消費量は全村298戸で一升瓶8,000本(1戸平均では27本)議論沸騰の末、**飲んだつもり貯金**を、村税負担金に振り替えて校舎建設費に充てるとの

【禁酒規約】が満場一致で定められた。

- ①禁酒した貯金を校舎建設費に充て、勤儉の習慣を作ることを目的とする。
- ②禁酒は大正15年4月1日から5年間。氏神祭礼と地鎮祭、婚礼はこの限りに非ず。
- ③期間中毎日毎戸五銭(現在の2~300円)以上貯金すること。
- ④村内にて酒類の販売・酒券の贈答はしない(外来者同様)。

禁酒実行の 大正15年(1926年)4月1日、決意のほどを示す

「禁酒」と朱書きされた鉄板製の表札が全戸の玄関に打ち付けられた。



村への入口で、隣接する高松町に通じる道沿いには
村内外に「禁酒村」を知らせる「禁酒の石碑」が建てられた。
村に8軒あった酒屋も自主的に廃業した
この禁酒の試みにより、5年間で小学校建築費を全額償還できた。
村挙げての禁酒運動は全国の話題となり、支援の輪が広がった。
遠く海外にも伝わり視察団がやってきた。
小学校は3月着工、7月31日完成した。



現在禁酒の碑は、村境の濁り澄橋のたもとからから元小学校跡の河合谷ふれあいセンター前庭に移設された。

風雪に耐えて立ちすくむ碑は、貧困だった村民の苦しみとともに子弟教育の熱い情熱と誇りをもった歴史の重み、理想郷の浪漫を秘めて私たちに語りかけてくれる。

禁酒という難行を成し遂げた河合谷村の教訓は、子供たちにどんな言葉よりも立派な心を教えてくれた。希望・責任感・忍耐・思いやり・・・子弟を愛する余り擧村禁酒に精進する熱誠こそが千言・萬語以上の大きな倫理を先輩から後輩に以心伝心で受け継がれ村人たちの教訓ともなり後世の人々に語り伝えられることとなった。

③開催記録

3月20日 河合谷地区振興会



3月30日 河合谷公民館運営審議会

4月10日 さんごうごう会定例会



6月20日 (公財)いしかわまちづくり技術センターへ赴き

「いしかわ 地域の魅力創造まちづくり事業」実施申請書一式提出する

酒井知克・江口誠一

7月15日 (公財)いしかわまちづくり技術センターより 「いしかわ 地域の魅力創造まちづくり事業」が採択される旨の通知



7月16日 禁酒の碑物語の原作者 長谷安次氏講演

7月30日 瓜生三番の滝金山採掘跡標識作り打ち合わせ



8月6日 紙芝居 原稿打ち合わせ

8月12日 いしかわまちづくり職員、派遣瀬戸達氏審査、打ち合わせ



11月12日 瓜生三番の滝遊歩道草刈り作業、看板立て



11月13日 いしかわまちづくり職員、派遣瀬戸達氏 紙芝居、ビデオ上演



12月22日 紙芝居DVD制作・録音収録



④事業の成果

耐えがたい我慢を強いられながら村民一丸となって小学校建設を成し遂げた物語を後世に伝え、その心情を一人でも多くの人たちに、参考にして頂ければと想う。

また、藩政時代極秘だった金山採掘跡も他町に無い郷土の隠れた名所で郷土愛をかき立てると思います。

⑤課題

今回の事業で紙芝居を町の希望小学校へ上演し親が子を想う心が伝われば幸いだ。また瓜生の三番の滝、金山採掘跡は広くPRし隠れた観光スポットとして途中の林道沿いの林は禁酒当時次期学校建設にと植えられた美林に感謝し、森林浴を満喫ウォーキングを楽しむことが可能と思われれます。

⑥終りに

当事業を通じ住民の心構え子や孫に先人の苦勞と努力が面々と受け継がれて行き、他地区や教育環境に少しでも波及を願うものです。最後に(公財)いしかわまちづくり技術センターの支援に感謝いたしております。